

真夜中のコビト

夜中にふと目覚めて
ベッドの脇の窓から
コビトが忍びこんで
眠りの邪魔するように
おもしろいようなこわいような
気持ちで毛布かぶる

ブラインドのスキマに
ヒンヤリが伝ってくる
まして月のあかりが
まぶしくて眠れない

出来なかった宿題の
後ろめたさも相まって
コビトが抱えたペンの
動きを薄目で見ても
うれしいような情けないような
気持ちで毛布かぶる

小さな頃だけでなく
今でもよく訪れる
夜中に道具抱えて
思うようにしてくれる

ブラインドのスキマに
ヒンヤリが伝ってくる
まして月のあかりが
まぶしくて眠れない